

東京農業大学 湘南なぎさ会 会報

【編集発行人】 湘南なぎさ会会長 神田 務

箱根 駅伝

昨年
の
雪辱
を
果たす！

秋も深まり、農大キャンパスの銀杏の木も色づき始め、秋の深まりと共に冬の足音が聞こえ始め、箱根駅伝が近づくと季節となりました。

去る10月18日(土)に第102回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会が東京都立川市の陸上自衛隊立川駐屯地並びに国営昭和記念公園にて催行されました。

本年より近年の季節外の猛暑から選手を守るため、例年より競技時間を1時間繰り上げて8時半のスタートとなりました。

伝統よりも選手生命を守る配慮が変革をもたらしました。

今年は42校が参加し、箱根駅伝本大会に出場できるのは上位10校までであり、箱根駅伝各区间と同じくハーフマラソン(21.0975km)の10人合計タイムで競われます。



前田選手、原田選手が見える

昨年は惜しくも1秒に泣き、箱根本戦出場を逃しましたが、今年はニース等で賑わいましてご存じと思われそうですが、総合6位にて予選通過、1月2日、3日の本戦出場権を獲得いたしました。

陸上競技部男子長距離ブロックでは、一年間「この1秒を忘れるな!『松葉緑の革命』」とスローガンを掲げ、悔しさをバネに日々練習に励んできました。

練習内容を選手が考案し、定期的にミーティングを開催、大会の戦略・練習の改善点を全員で共有するなど、学生が主体

でチームを作り、運営してきたとのこと。

日々の練習や生活面においても、学年を超えたコミュニケーションを密にとり、互いを高めつつ支え合ってきたとのこと。

予選会当日の朝は快晴でしたが、前述の通り開催が今予選会では1時間早いこともあり、昨年の猛暑とは打って変わり、7度ぐらい低い気温(17℃位)でのスタートとなりました。

レース展開は、全体を通し、農大は全12名出場の内、前グループ5名、後グループといたった集団走での戦略をとり大会に臨みました。そのため、各計測ポイントでは主力前グループの5名通過

2年振り! 農大箱根路に帰る!!

では、農大が通過順位毎回トップとなっていたと思われたことでしょうか。

序盤は、集団走行のため5km地点では11位、次の10km地点では、7位に浮上、15km地点で5位になり、総合は一つ順位を下げ6位でした。

9・10番目の選手は同時にゴールしたのを見届けましたが、10人フィニッシュ順位は12校目だったので、結果発表までどうなのか、皆様ひやひやしたものでしょう。

エース前田(3年)が今予選会に復帰し、最後まで他校エースと張り合いながら引つ張ったことも去ることながら、他、上位4名[栗本(3年)、原田(4年)、深堀(4年)、小島(4年)]の走りは、予選会を見渡してもトップクラスの走りでした。

後方に少し離れていた後グループの農大6番目の井坂(1年)も10km過ぎから圧巻の走りで、90番上げる(90人抜)大幅な順位アップで底上げに大きく貢献しました。特に

15km過ぎの追い上げが素晴らしかった様子です。終わって見ると全員が気迫の走りで、1年生、2年生の中堅の頑張りも含め、上級生の層がこの1年で厚くなったことが結果に繋がりました。

当落選圏内の勝利の力ギとなる100位内に半数入るといふ課題は、今予選会で言えば6人がクリアし、その内4名が14位く41位と敢闘しました。



来年正月2日、3日は、皆様に沿道で応援をしましょう。当会でも応

【総合成績】

1 中央学院大学	10時間32分23秒
2 順天堂大学	10時間32分35秒
3 山梨学院大学	10時間32分44秒
4 日本大学	10時間32分57秒
5 東海大学	10時間34分07秒
6 東京農業大学	10時間34分59秒
7 神奈川大学	10時間36分07秒
8 大東文化大学	10時間36分12秒
9 日本体育大学	10時間36分14秒
10 立教大学	10時間36分56秒
11 法政大学	10時間37分13秒
12 明治大学	10時間38分54秒

【個人成績】

14位 1:02:12	148 前田 和摩 (3)・兵 庫
21位 1:02:21	147 栗本 航希 (3)・岐 阜
27位 1:02:35	143 原田 洋輔 (4)・神奈川
30位 1:02:38	144 深堀 優 (4)・佐 賀
41位 1:03:01	141 小島 岳斗 (4)・埼 玉
92位 1:03:45	153 井坂 光 (1)・茨 城
151位 1:04:20	152 菅原 匠人 (2)・埼 玉
165位 1:04:29	154 内田 温規 (1)・千 葉
206位 1:04:49	149 松江 耕輔 (3)・学 連
208位 1:04:49	146 植月 俊太 (3)・岡 山

援ブースの確保にOB諸兄が動いております。選手も一丸となり、箱根駅伝本戦では、念願のシード権獲得を目指しております。(敬称略)

箱根駅伝本戦出場



駅伝ルート

3区・8区

箱根駅伝 湘南なぎさ会
応援会場のご案内

沿道での応援には、東京農業大学公式応援ブースを用意しております。

駅伝両日は、沿道での「たくさん」の応援により、選手と共に箱根駅伝を体感しましょう。

3区・8区の当会の会場は、「藤沢会場(JAさがみ 鶴沼支店付近)」のみとなります。

農大のぼり旗が目印です。ご家族・お友達お誘いの上、是非お越し下さい。

※大根の配布はありません。
大会規定により禁止となりました。

【JAさがみ 鶴沼支店】
神奈川県藤沢市本鶴沼 2-5-19
※藤沢警察署 正面
※小田急線「本鶴沼駅」徒歩8分

第27回湘南なぎさ会総会を開催

県下地域
分会の総
会参加、
校友会本

秋の深まりとともに、紅葉や収穫、行事など喜びを感じられる季節となりました。皆様におかれましては、皆様のご活躍の存じます。日頃より当会の諸活動にご協力、ご理解頂き、誠に有難く存じます。

去る令和7年7月第1週の5日(土)、藤沢商工会館ミナパーク3階303会議室にて27回総会を実施しました。

加藤恒雄氏 神奈川県支部長をはじめ、松居靖雄氏 湘南稲桜会会長を来賓に迎え、21名の参加者により開催されました。受験生を持つ会員で二部講演を聴きに親子参加もありました。

活動報告として、役員会を6回実施、他大学と交流を含めたミニ収穫体験を10月20日実施、湘南ユニバーシティクラブ(SUC)交流会への参加、校友会県支部役員会、

部への様々な依頼を実施しました。

収支決算報告、事業計画案、収支予算案が上程され、審議のもと全議案が全会一致で可決承認されました。

以下抜粋にて概要を報告させていただきます。

【令和7年度事業計画】

※実施報告含む。

(1)通常総会の開催

(2)箱根駅伝の応援準備

↓会場検討、確保依頼、会場準備。

本戦出場想定とし、新たな応援方法の検討。校友会本部・県支部と連携。

(3)箱根駅伝予選会応援
↓後藤副幹事長他、個別に応援参加。

(4)親睦会・会員間親睦強化、女性会員増強活動
↓当会親睦会開催。親睦深める企画の検討。

(5)SUCとの交流

↓令和7年9月15日。
幹事校…駒澤大学

(6)収穫体験等のイベント検討・実施

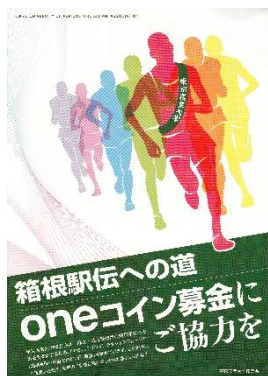
↓令和6年度は有志にてミニ体験実施。

(7)広報の発行

(8)役員会の開催
↓通常通り実施。

【陸上部支援金】

「箱根への道 one コイン募金」として、5万7千円を9月、5月に校友会本部へ送金。



第二部記念講演は、世田谷本校より武田晃治教授「大学院農学研究科環境共生学専攻(博士課程)、地域創成科学科教授課程 化学教育研究室」(平16「院化博」)をお招きし、『「教えて・食べて・考える」ザリガニ研究の未来』という演目で講演いただきました。子どもの頃や親・祖母になつて、子や孫と

釣ったり捕まえたり、飼ったり、子供にとって身近でカッコイイ、また近年は特定外来生物として放流・キャッチ&リリースが法律で禁止され、なにかと騒がれがちなアメリカザリガニですが、その活用を科学的に研究されています。

日本では多くは殺処分される未利用資源ですが、世界を見ると、水生生物では養殖13位、サケの2分の一の生産量を誇る有用資源とのこと。養殖されるザリガニ類の99%がアメリカザリガニで、その内、中国が生産量33%を占める注目生物とのこと。ここでも中国の存在感が際立っています。代替タンパクとして、殻もフンも含め、食品、医薬品、飼料、肥料としても利用可能なスーパー生物とのこと。水田を行ってゐる方には少々厄介者に感じられるかもしれませんが、合鴨農法の代替になり、稲の根の促進、害虫駆除を担う存在にもなるとのこと。



武田先生は、カラフルザリガニを作成し、雑食を生かし、食べさせた食物(餌)に含まれる成分の体色変化による生理機構の可視化も行っております。

高タンパク・低脂質でありイノシン酸(うま味成分)も豊富なことから、特産品・雇用の創出といった地域おこしを進めているところもあるそうです。食料危機問題の解決策の一つとしても着目し、アフリカケニアでの共同研究も進んでいるなど、農大らしい貴重なお話をいただきました。

第三部は懇親会として、旧知の親睦を深め、

ジャンケン大会を盛大に実施しました。

景品を出して下さった方々には改めてお礼申し上げます。

最後に恒例の後藤茂樹副幹事長による陸上部の近況と気になるエース前田選手の仕事上がり等、箱根駅伝予選会・本戦への意気込みが感じられる報告でした。その後これまで恒例の後藤副幹事長のエールに始まる学歌斉唱により、盛況裡に幕を閉じました。

今年の夏も猛暑で、野菜やら果樹やらの収穫にも影響が出ておりました。彼岸花も彼岸には咲かず、10日程遅れたと体感します。

皆様には体調に気を付け、健やかな新年をお迎えと共に、正月2日、3日箱根駅伝には、母校後輩の応援を賜りますようお願い申し上げます。

来年の総会は2026年7月4日(土)15時開催予定としております。

皆様と直接お目にかかれることを切に願っております。

会員・役員のお誘い

湘南なぎさ会も、早いもので設立27年となりました。箱根駅伝出場・応援が一番の親睦となることは確信しておりますが、鳥兎忽忽の時代、当会の運営において新たな力、若い力も欲しております。

一人でも多くの会員が増えれば、湘南なぎさ会のすそ野も広がることでしよう。そのきっかけを会員全員で実践し、仲間を増やし勧めることを心がけていただければ幸いです。

もしお近くに卒業生、関係者がいましたら、「駅伝見ようよ」でも良いので、お声かけ下さい。

紙だけでなく、動画や記事スマートフォンやパソコンで見られたら、また違った交流ができるかもしれません。「取材を受けた」、「こんなことをして

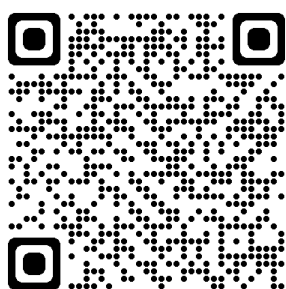
いる」、「こんなものを作った」、「お知らせしたいことがある」という方は、遠慮なくお知らせ下さい。お待ちしております。



校友会本部にて組織の動向、OB同士の動向、各種手続き、県内外支部等の活動などホームページにてお知らせしております。住所変更があった場合も校友会ホームページにお願いします。

【 <https://www.nodai-koyukai.jp/> 】

農大校友会HP



神奈川県支部総会 開催される

去る令和7年9月6日(土)ロイヤルホールヨコハマ(横浜市中区、横浜中華街前)にて、令和7年度神奈川県支部総会が実施されました。

県下会員は60名の参加、当会から神田、橋本、大久保、渋谷、後藤(茂樹)、後藤(和哉)、浅間(敬称略)の7名にて参加しました。

神奈川県支部総会は、隔年にて開催となりますが、前回までの会場は東京農大厚木キャンパスで、趣向を変えて久方振りの横浜開催となりました。



定期総会は松居靖雄副支部長(昭43「院化修」)の開会

のことば、加藤支部長の挨拶で始まり、来賓として小野校友会副会長より校友会の近況並びに活動報告のお話をいただき、また馬場教授からは大学の近況報告をいただきました。

加藤支部長による議長のもと、議事に入り、全議案全会一致にて可決・承認されました。

総会後は、横浜市が瀬谷区にて開催を予定する「2027年国際園芸博覧会(略称: GREEN×EXPO2027)」について、校友の横浜市役所の岩間貴之(平9「造」氏)によるPRと校友への協力要請がありました。



記念講演では、校友で山北にて新規就農で酪農を始めた花坂薫(平24「

産食)氏による『山地酪農で牛と共に作る山』という演題で講演をいただきました。

花坂氏は、網走のオホーツクキャンパスの生物産業学部食品科学科を卒業後、岩手県の岩泉町のなかぼら牧場に就職し、2018(平成30)年に単身で山北の標高700mの山野山山頂付近に8.8haの土地を借りて、薫る野牧場を開始。ジャージー牛を放牧し、牛乳等の製造販売を行っております。



今年の3月にテレビ朝日の「ぽつんと一軒家」に出演され、見られた方もいると思われます。牧場の立ち上げから、永續可能な「山地酪農(やまぢらくのう)」の実践で山を守りながら牧場を経営する苦勞

等、引き込まれるお話で、参加された皆様は真剣に見聞きされておりました。

懇親会は同会場にて、久しぶりの再会を喜び、講師の花坂氏とその家族を交えて、近況や親交を深めました。

最後は、応援団OBの服部樹(平19-国企)氏のリードで学歌斉唱、エールと共に青山ほとり(大根おどり)を全員で踊り、盛況裡に幕を閉じました。

GREEN×EXPO 2027



山北 薫る野牧場



第27回湘南ユニバーシティクラブ(SUC)が盛大に開催される!

去る9月15日(祝・月)

藤沢市民会館第1展示ホールにて、湘南ユニバーシティクラブ(SUC)親睦



交流会が開催されました。

本年は駒澤大学神奈川県南支部様が幹事校を務められております。加盟14校81名にて催行され、当会からは7名参加となりました。同テーブルは同役職・同年代と配慮され、見知った方、毎年こちらでお会いする方など様々で、親睦を深め、盛況裡に終わりました。

記念講演は駒澤大学卒の曹洞宗浅間山(せんげん

ざん)興教寺(厚木市)の浅摩泰真(あさまたいしん)住職による『仏教の

学び:いまさら聞けない「仏教の歴史や教え、作法など」という演題で、よく通る声で優しく解説下さいました。



この世のあらゆる物事は、単独では存在できず、多くの「縁」(間接的な条件や関わり合い)が重なり合うことで成立するといふ「衆縁和合」の精神で、多くの存在と繋がって生きていくという貴重なお話をいただきました。仏教の実践の一つとして座禅があり、その仕方と実際に会場の皆様で体験をし、有義な時間となりました。講演は駒澤大学らしい

特色で、駅伝では常連伝統校で有名ですが、大学の成り立ちを知るきっかけとなりました。

各大学のアピールではクジ引順でイベント感があり、全員壇上に立ち、一体感を体感しました。

叙勲



この度、当会副会長の大久保泰明(昭51-短農)氏が令和7年春の叙勲にて、「瑞宝双光章」を受章されました。



大久保氏は「JAさがみわいわい市寒川店」でお馴染みの野菜農家(大久保農園)で、多忙の傍ら長きに亘り寒川町の消防団でご尽力されました。消防団団長として熱意をもって職務にあたり、多くの後進の育成にも貢献され、その功績が高く評価されました。この度のご受章の栄誉に輝かれましたこと、会員一同心よりお祝いを申し上げますと共に、今後益々のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

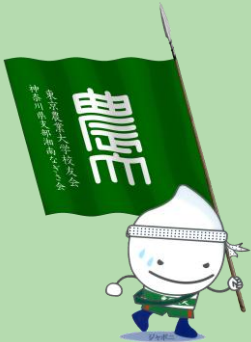
役員名簿

(令和7～8年度)

役職	氏名	住所	電話	卒年—学科
会長	神田 務	藤沢市湘南台		昭45-造
副会長	大久保泰明	寒川町小谷		昭51-短農
	渋谷忠宏	藤沢市西俣野		昭53-農
幹事長	橋本利男	藤沢市羽鳥		昭51-造
副幹事長	後藤茂樹	海老名市今里		昭51-林
	井出一浩	寒川町宮山		昭61-短農
会計	桂田 孝	鎌倉市西鎌倉		昭54-造
	浅間祐一	藤沢市辻堂元町		平9-産生
幹事	高井博文	藤沢市亀井野		昭42-経
	三堀雅道	茅ヶ崎市円蔵		昭44-造
	長嶋喜満	藤沢市宮原		昭48-造
	谷 博人	寒川町宮山		昭50-造
	平牧直樹	茅ヶ崎市柳島		昭54-経
	前田静男	藤沢市宮原		昭57-工
	高橋芳嗣	茅ヶ崎市円蔵		昭62-短農
	尾嶋 博	藤沢市西俣野		平4-林
	内野宏幸	藤沢市宮原		平5-産生
	帖佐寛樹	藤沢市鵜沼海岸		平10-開発
	熊山将敏	藤沢市瀬郷		平12-短緑
	田島伸樹	藤沢市湘南台		平12-短緑
監事	初見直義	藤沢市辻堂元町		平10-造
相談役	浅場 亘	藤沢市本鵜沼		昭44-造
	青木正保	寒川町宮山		昭53-造

《 湘南なぎさ会 会員会費・第102回箱根駅伝競走支援募金のお願い 》

- 毎年のお願いになりますが、湘南なぎさ会会費の会費(2,000円)の納入をお願いいたします。
- 皆様のご厚意にて、会を運営させて頂いており、当会の活動・運営に活用させていただきます。
- まだご納入されておられない方は、誠に大変恐縮でございますが、郵便払込用紙(ゆうちょ銀行)を同封しますので、**12月20日**までにご納入賜りますよう、お願い申し上げます。
- 来年正月は、2年振りに箱根駅伝に戻ってきます。校友会神奈川県支部として、「第102回東京箱根間往復大学駅伝競走」(箱根駅伝)の応援支援、並びに支援募金を募集する運びとなりました。
- 当会も校友会本部・県支部と連携し、応援・準備と併せて、第102回「箱根駅伝競走」支援金として募ります。
- 会員会費と併せまして、お願いばかりでございますが、重ね重ね宜しくお願い致します。



★★会費・箱根駅伝支援金の納付についての問い合わせ・ご納付先★★

会計 浅間祐一 藤沢市辻堂元町
TEL E-Mail
郵便振替 00250-3-98558 (郵便局振替払込口座番号)
口座名義 東京農業大学校友会 神奈川県支部 湘南なぎさ会

★★箱根駅伝応援・選手支援についての問い合わせ・連絡先★★

幹事長 橋本利男 藤沢市羽鳥
TEL FAX

編集後記

今年も皆様のご厚意により会報をお届けできました。日頃OB会活動にご協力下さりました方々には心よりお礼申し上げます。
来年正月の箱根駅伝は、昨年の惜敗を乗り越え2年振りの出場となりました。応援には多くの校友が集まることを期待します。後輩・親睦のため宜しくお願いします。
【橋本】

日本人には馴染み深い駅伝という長距離リレーですが諸外国では類をみない競技とのこと。特に箱根は、一區間当たりの距離がハーフマラソンと同じ。他駅伝に比べ最大約3倍長い距離を走ります。それだけ選手には過酷ですが、見る方もドラマが生まれます。いくつか国際的にメジャー競技となつて、オリンピックでも見られたらと夢見ます。
【浅間】